

## 実質化した人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
最上町	下小路	令和5年3月29日	令和4年3月25日

### 1 対象地区の現状(令和2年度実施アンケート結果より)

①地区内の耕地面積	85.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	62.8ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	16ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.6ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5.4ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	19.4ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<p>○水稲を中心に新田・立小路・下小路・本城地区の農業者が主に耕作をしている現状であり、今後どのような形で農地の集積を図っていくのか話し合いを重ねる必要がある。</p> <p>○後継者が定まっている農業者が多いが、5年後、10年後には70才以上の農業者が確実に増える見込みであるため、スムーズな農地集積・経営移譲が必要となる。</p>
--

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>○中心経営体を引き受け意向のある農地については、今後積極的に農地の集積を検討する。</p>
--

### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農業者は8名。農地面積は6.5haとなっている。</p>
<p>農地中間管理機構の活用方針 農業をリタイア・経営転換する人は、農地中間管理機構に貸し付けを検討する。</p>
<p>鳥獣被害防止対策の取組方針 町農林振興課農林振興至森林整備担当と情報共有しながら、随時、適切な対策に取り組む。</p>
<p>災害対策への取組方針 水害、寒乾害、高温害等の被害防止のため、情報収集に努める。</p>

#### 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考 (中心経営体として位置付けられているその他の主な地区)
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	経営範囲	
	27経営体		56.4 ha		75.8 ha		